



博 約

(綾部小学校学校だより)

「自立と貢献
～夢をもち 仲間とともに
未来を切り拓く 子どもの育成」
あいさつ・やさしさ・べんきょう
綾部市立綾部小学校
令和6年4月30日発行

校長 小嶋 康弘

新しい学年での生活も約3週間が経ちました。子どもたちは落ち着いて学校生活を送っています。1年生も登下校や学校での生活に少しずつ慣れてきました。

最高学年の6年生は、初めての大事な仕事となる入学式において、前日準備や当日のお手伝い、後片付け等、一人一人が最高学年としての自覚を持ち、その責任を立派に果たしました。

また、6年生は、4月の11日～26日の期間、『1年生のヘルパーマン』という活動を行っています。これは朝の8:10～8:35の時間帯に、6年生が1年生の3つの学級を分担して訪問し、朝の準備のお手伝いや絵本の読み聞かせなどを一緒に過ごすというものです。

1年生にとっては、学校生活に慣れたり、安心して楽しく教室で過ごすことができたりします。また、6年生にとっては1年生との関係を築いたり、最高学年としての自覚を高めたりすることにつながります。

また、先日今年度の児童会のスローガンが以下のように決まりました。

令和6年度 綾小スローガン(児童会)

～あいさつ・協力・認め合い～ 笑顔あふれる綾部小学校

「あいさつ」「協力」「認め合い」を大切に、綾部小学校を笑顔いっぱいになりたいという子どもたちの思いが込められた素敵なスローガンです。挨拶については、これまで少し課題が見られましたが、月・水・金の3日間、運営委員の子どもたちが西門に立ち、笑顔で元気に挨拶をしてくれており、自ら挨拶ができる子ども、挨拶がしっかりと返すことのできる子どもが増えています。

魅力ある学校=ウェルビーイングな学校

今、「ウェルビーイング」という言葉が世界的に注目されています。「ウェルビーイング」とは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものとされています。

昨年の6月16日に閣議決定された「第4期教育振興基本計画」においても、「持続可能な社会の創り手の育成」とともに「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が打ち出されました。

幸せ(happiness)は、より短期的で個人的な状況評価・感情状態であるのに対し、ウェルビーイング(well-being)は、より包括的で、個人のみならず個人をとりまく「場」が持続的によい状態であることを言います。

前号の学校だよりでもお知らせしましたが、本校では、今年度の学校づくりのスローガンを『児童が今日も行きたい、学びたいと感じる「魅力ある学校」づくり』としています。まさにこれは「ウェルビーイングな学校づくり」とも言えます。

子どもたちにとって学校が、幸せで、笑顔がいっぱいで、誰もが安心して学び、自分の力を伸び伸びと発揮することができる場所であってほしいと心から願っております。

子どもが今日も行きたいと思える学校、保護者や地域が子どもに行かせたいと思える学校、教職員が働きたいと思える学校、このようにすべての人たちにとってのウェルビーイングな学校づくりを保護者、地域の皆様と一緒に進めていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

令和6年度 学校づくりスローガン

『児童が今日も行きたい、学びたいと感じる「魅力ある学校」づくり』

あ(あいさつでつながる学校) や(やさしい言葉があふれる学校) べ(べんきょうをがんばり夢をかなえる学校)